



みのり

学校だより 第6号

令和4年9月22日(木)

東根市立小田島小学校

文責 校長 吉田紀子

手紙でつながる敬老の日

黄金色の稲穂が首を垂れて、今年もみのりの秋となりました。農業少年クラブの実習田では、2体の剣道と柔道をしている頼もしい「かかし」が5年生の田んぼを見守っています。先日、畑の先生の石山さんと有志（保護者・児童・担任）で制作したそうです。

さて小田島小学校では、「敬老の日」に合わせて、地域の80才以上のおじいちゃんやおばあちゃんへ葉書を送っています。手紙を書くことで、子どもたちに敬老の心（年長者を敬う心）と思いやりの心を育てることがねらいです。子どもたちは、自分が今がんばっていることや近況、そして最後に「長生きしてください。」などのメッセージを記しました。もらった人が喜ぶようにと、色を染めたり絵を添えたりして、丁寧に仕上げていました。

461名の小田島地区の80才以上の皆様に、子どもたちの元気パワーと敬老と感謝の心が届くといいなと願うところです。

(※葉書は「手紙の書き方体験授業」の教材として日本郵便からいただいています。)

(※コロナ対応で学年閉鎖だった学年もあり、9月中には皆様に届く予定です。)

